



5

中川・桜樹

令和3年度版

西条市 土砂災害 ハザードマップ

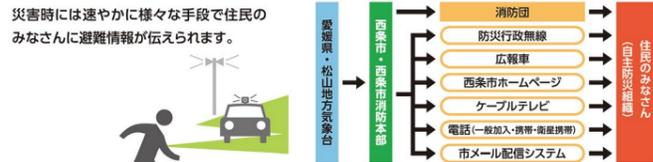
このマップについて ABOUT THIS MAP
この土砂災害ハザードマップは、西条市の南側に位置する豊かな山々で大雨が降ることにより土砂災害が発生するリスクや、同様の雨が降った場合の加茂川や中山川などの河川氾濫の範囲を示した地図です。このマップで示した土砂災害警戒区域以外でも災害は発生する可能性があります。土砂災害や気象情報に関する正しい情報の理解と、早めの避難行動を心がけてください。

保存版 timeless edition

ハザードマップを見て、土砂災害の危険がある場合は、警戒エリアの外へ避難。もしくは崖と反対側の2階以上で安全確保！



防災情報の伝達方法



情報の入手先 (パソコン、携帯サイト) テレビやラジオでも情報収集を!

Information sources including: 西条市ホームページ, 気象庁, えひめの防災・危機管理, 西条市公式アプリ, 愛媛県避難支援アプリ, 松山地方気象台, キキログ, 防災情報提供センター, 西条市安全・安心情報お届けメール, and contact info for m-saijo@xpressmail.jp.

困ったときの対応・連絡先

- 逃げ遅れた場合: あわてず2階以上に移動し、消防署に連絡し救助を待つ
●自力で避難できない場合: 市役所・総合支所・自治会長・自主防災組織・民生児童委員・近所の人・消防団に連絡し、支援を要請する
●大けがをした場合: 応急処置をし、消防署に電話する
●停電になった場合: 電源コンセントを切り、四国電力送配電(株) 西条事業所 0120-410-638 に電話する
●家族の安否が不明の場合: 災害用伝言ダイヤル171などで安否確認のうえ、警察署・市役所・支所に電話する

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認することができます。Web171(災害用伝言板)とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のごとく、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから利用することができます。 https://www.web171.jp

Table with contact numbers for 西条市役所(防災専用), 愛媛県 東予地方局, 消防署, 警察署, 西条市消防本部, 西条警察署, 西条西警察署.

西条市土砂災害ハザードマップ 作成/令和4年2月 西条市 経営戦略部 危機管理課 TEL 0897-521-1283(直通) FAX 0897-52-1725(課専用)

土砂災害に関する気象情報ととるべき行動

土砂災害は山間部や傾斜地を中心に起こります。大雨や地震など、地盤が緩むようなことが起きたときは注意が必要です。裏面のハザードマップで浸水想定区域など危険な箇所をあらかじめご確認ください。

5-level action guide for sediment disasters. LEVEL 1: 大雨の数日前〜約1日前. LEVEL 2: 大雨の半日前〜数時間前. LEVEL 3: 大雨の数時間前〜2時間程度前. LEVEL 4: 大雨が降り始める. LEVEL 5: 大雨が降り始める. Includes actions like checking forecasts, preparing supplies, and evacuation routes.

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインは、土砂災害の危険が高まる時に、一人ひとりがとるべき防災行動について、「いつ」、「何をやるのか」を整理した個人の防災計画です。行動のチェックや、避難の判断をサポートするツールとして役立てることができます。

My Timeline form with sections for 確認!, いつ?, どこに?, どのように?, and other memo. Includes a QR code for the timeline tool.

Diagram showing the relationship between heavy rain, earthquakes, and sediment disasters. Includes text: 土砂災害は大雨が止んだ後も起きます。土砂災害の多くは、大雨や長雨が原因で発生しますが、げけ崩れなどは雨が止んだ後に起こることがあります。

土砂災害のことを知ろう

土砂災害への心構え

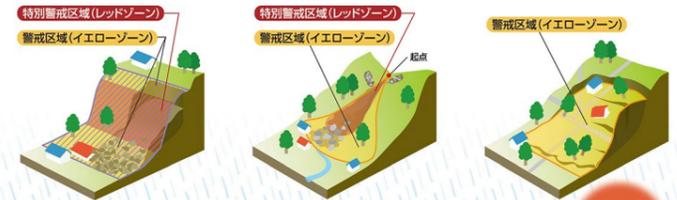
過去に起きた土砂災害
平成26年8月に発生した広島市の土砂災害では、複数の谷で同時多発的に土砂崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。国は同年11月にこれまでの「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域について明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。愛媛県でも、平成16年には過去最多の6つの台風が接近し、県内各地で土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。河川に沿って急峻な山々に囲まれた地域では、風水害による土砂災害のおそれや、大雨時の河川氾濫による浸水被害も予想されます。日ごろから、災害についての理解を深め災害時に必要なものや情報を備えておくことが防災・減災につながります。



- 雨が降り始めたら、木造2階建、2階以上で屋内安全確保。むやみに外に出ない!
●逃げ方を覚えておきましょう。土砂災害はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れの方向とは、直内に横に逃げましょう。
●「避難情報」が発令されたら... 避難情報の発令は、避難行動を開始するタイミングです。気象情報などにも注意し、いつでも行動できるように準備しておきましょう。危険を感じたら自主的に避難することも重要です。避難先やそこまでの移動時間を調べておきましょう。発令直後は、避難所が開設されていない場合があります。
●逃げ遅れたら屋内安全確保!(緊急時) 建物の2階以上、浸水や土砂が流れ込む恐れのない上層階など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。特に土砂災害が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上層階に避難しましょう。
●夜間の避難は危険です! 夜間での避難は視界が悪く、大雨で音も聞こえにくく、崩れている道路に気づかないこともあり大変危険です。明るいうちに避難するか、自宅などの建物内なるべく高い所に避難しましょう。

土砂災害の種類と特徴

- がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 主な前兆現象: 1. がけから出る水がにごる 2. 斜面に割れ目、変形がある 3. がけから小石が落ちてる 4. 地下水やわき水が止まる
●土石流 主な前兆現象: 1. 川の流れにごり、流木が運り始める 2. 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
●地すべり 主な前兆現象: 1. 地面にひび割れができる 2. 斜面に水がふき出す 3. 沢や井戸の水がにごる 4. 家やよう屋に亀裂が入る



自宅で安全確保～日頃の対策

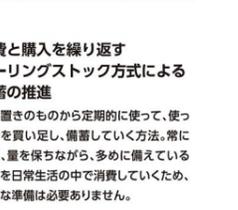
自宅の点検をしよう!

- 家の外: 1. 雨どい: 枯葉や砂が詰まっていないか、はずれていないか 2. テレビアンテナ: さびたりゆるんだりしていないか 3. 屋根瓦やトタン: めくれたり壊れたりしていないか 4. 窓: 飛散防止フィルムを貼る ひび割れや窓枠のたつきはないか 5. 雨戸やシャッター: がたつきやゆるみがなく、ちゃんと開閉するか
●物の干し竿: 飛ばされないように下ろす
●土のう・止水板: 玄関や床下換気口など設置して、住宅への浸水被害を限りなく減らす
●側溝や排水口: 掃除して水の流れをよくしておく
●樹木・庭木・ベランダのもの: 飛ばされそうなものは家中へ、庭木は剪定されたり、倒れたりしないように支柱で固定する
●プロパンガス: 固定されているか



自宅での避難生活の備え

- 自力で3日間を過ごす準備! 備蓄品を備えましょう
●食品: 缶詰やレトルト食品など 非常食3日分を食む7日分以上を備蓄
●水: 飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安 非常食3日分を食む7日分以上は用意
●燃料: カセットコンロ、予備のボンベなど
●工具: ロープやスコップなど
●その他: ウェットティッシュ、タオル、簡易トイレ、毛布、ラップ、食料類など



自宅を離れて安全確保～避難の準備

自宅を離れる際の注意点

- 自宅を離れる前に! 1. ガスの元栓を閉め、電気スイッチ、ブレーカーを切る 2. 家族の安全を確認、親戚や知人に避難することを連絡する
●徒歩で避難所へ! 以下の問題が発生するおそれがあります 1. 交通渋滞 2. 浸水による妨げ 3. 緊急車両の妨げ
●情報収集と自ら判断を! 1. 最新情報入手する。 2. デマに注意する。

非常時の持ち物 チェックしましょう。 食料品: 飲料水, 非常食, 貴重品, 現金, 保険証. 衣類・衛生用品: 下着・上着, タオル・ウェットシート, 洗面用具, 歯ブラシ, 携帯トイレ. 日用品: 懐中電灯, タオルラジオ, 予備電池, 携帯電話, 充電器. 小さな子どもや高齢者の方が居る家庭では: 粉ミルク・母乳瓶, 紙おむつ, 離乳食, 常備薬, 流動食, お薬手帳. ベットの居る家庭では: ベッドフード, ケージ, ふん尿の処理用品. 女性向け: 防犯ブザー・ホイッスル, 生理用品, ヘアゴム・くし・手鏡.

避難所での注意点

- プライバシーを守りましょう 他人の荷物などを勝手に触ったり、のぞいたりしてはいけません。
●貴重品は常に携帯しましょう 過去の災害では、避難所での盗難が発生しています。貴重品は必ず持ち歩きましょう。
●相手への配慮 他人をしるし見るなど、相手を不快にさせる行為は避けましょう。困っている人がいたら、声をかけるか避難所係員まで連絡しましょう。
●避難所では静かに過ごしましょう 飛沫感染を防ぐことや、寝ている人の邪魔にならないために、大声や大きな物音をたてるのは控えましょう。
●ソーシャルディスタンスを確保しましょう 避難所では、密を避け、他人との間隔をあけるように心がけましょう。
●必ずマスクを着用しましょう 避難所内での感染症拡大を防ぐために、必ずマスクを着用してください。着用を拒否した場合は、退出していただく場合があります。
●定期的に検温しましょう 体調が悪く感じた時にはすでに症状が悪化している場合があります。定期的な検温し、体調管理を徹底しましょう。
●ごまめに水分補給をしましょう 暑さなどで水分が不足しがちな状況になる場合があります。毎日うがいや歯磨きをしましょう。
●うがい、歯磨きをしましょう 口内環境が悪いと思われ病気にかかることがあります。毎日うがいや歯磨きをしましょう。
●暑さ・寒さ対策をしましょう 停電などで空調が使用できない場合に備えて、うちわや扇子、薄い毛布(ブランケット)などを用意しておきましょう。
●体調が悪くなったらすぐに避難所係員へ相談しましょう 体調が悪くなると、周囲に影響が出る前に、すぐに避難所係員へ相談してください。
●ごまめに消毒をしましょう ほとんどの場所が共有スペースのため、人の手の触れる機会が多くなります。自分の生活スペースに戻る前に必ず消毒をしましょう。
●定期的に検温しましょう 体調が悪く感じた時にはすでに症状が悪化している場合があります。定期的な検温し、体調管理を徹底しましょう。